

神奈川県演劇連盟機関誌

# ドラマ神奈川

第21号

2000年1月31日発行【神奈川県演劇連盟】

●横浜市中区福富町西通り52 ☎045-261-4866

あけましておめでとうございます

今年（2000年）はまだ20世紀!!  
皆様お間違えのないように!!  
今年もよろしくお祈りします。

（編集部）

## 蒼生樹

15周年記念公演もお客様に支えられ無事終えることができました。さらに20周年30周年を迎えられるよう、お客様に末永く愛される劇団・芝居創りをしていきたい。

## 蒼い群

とにかく健康で元気よく稽古場に皆んな集り、声を出し、身体を動かし、充実した年にしたい。腹を立てずに気は長く、皆んなで仲良くしていきたい。2000年頑張りますよ。

## 河童座

Key wordは50 走り続けて来た河童は丘へ上がって一休み……勿論休けいではありません。2001年をじつとにらんだ体力創りです。

## かに座

2000年への抱負はもち論良い舞台を、市民と共有できるドラマを創っていくことである。6月公演は、01年6月に予定している50周年記念公演の第一弾としている。

MILLENNIUM  
2000

## 川崎演劇塾

2月は幼稚園で「きばのないおおかみ」、6月は本公演（劇場・演目未定）、そして11～12月は「西遊記」と、規模と同じく尻上がり大きく伸びていきたい二千年の演劇塾！

## 京浜協同劇団

老若男女揃っていないと芝居はできない。昨年は神奈川文化賞をいただいて区切りの年になったが、今年は懐の深い、理想の異年令集団をめざす年にしたいものだ。

## 劇★派

1970年1月1日より開始された「劇★派の動き」。それは果して、新世紀へと続く道の上にあるのでしょうか。歩く者が多ければ、道は濃くなるのでしょうか。はてさて。

## こゆるぎ座

設立時の理念と信条を受け継ぎ54年の才月を経て、2000年を迎えます。小田原にこゆるぎ座ありとの自覚と信念を持って1年1年の積み重ねの中にきらめく演劇文化の華をかざりたい。

## 湘南 ミュージカルシアター

ミュージカルのためのコンピューターを使った作曲、演奏を続けています。育児の合間のゆっくりしたペースですが、そろそろスタッフを集めて次の公演の準備を始めようと考えています。

## 葡萄座

2000年だからといって特別な思いはまったくない。劇団の上演活動には限界点がある。自分らの許容範囲の中でいかに充実した時間を過ごすことが出来るかがいつもの課題だ。

## プロジェクト夢樹

県連公演には個人として積極参加する所存であり、独自の企画は一際考えていません。本年秋季以降から2001年3月までに開催予定の「三浦半島演劇祭」には頑張りたいと希望しています。

## 麦の会

まず、地球征服の足掛りとして月公演を行いお客を4万人動員しその総べてを劇団員、又はシンパとして洗脳する。そしてそれらを全世界の政府へ潜入させそれから……………

## 横浜小劇場

2000年という世紀の変わり目ですから、私たちの劇団も大きく飛躍したいという思いがあります。しかし現実はいきびしく、これをどう打開すべきかの思索の方が先という状況です。

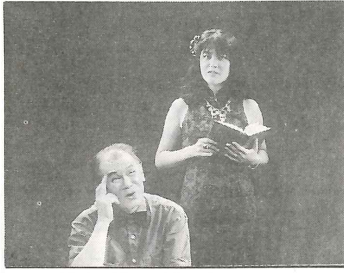
## 横濱にゆうくりあ

3月は「にゆうくりあ実験劇場2000」で、3人の外部演出による公演。11月は加藤直さん演出による神奈川演劇連盟合同公演に全面参加。2000年は新しい可能性を求めて前進。



## 横浜にゆうくりあ

『ブルーライト  
ヨコハマ』



9月14日(火)～19日(日)

相鉄本多劇場

「ブルーライトヨコハマ」横浜ロマンの想いを込めたドラマ、作者の真情は十分に響きました、が反面「作・演出」のマイナス面も強く出てしまった、舞台をより面白くしようとした(劇団の特性かもしれませんが)のだと思いますが、これが逆に主題の流れを中断(邪魔)したりしてロマン性をかなり失わしめてしまったことが残念でした。若い世代との感覚とは違うのかもしれませんが、台本を

思い切って整理し、演出的に演技表現を整理してあったならば、もっと真情が全面に出ていた筈と思っています。これからのオリジナルを期待しています。

(劇団かに座 田辺晴通)

## 劇団麦の会

『夏の日陽炎』



10月16日(土)～17日(日)

関内小ホール

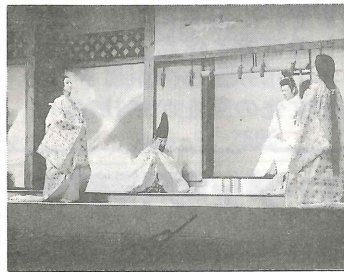
躍動感溢れるエネルギッシュなエレキギターの音で幕が開いた。そこは激しい空襲の中の防空壕内であった。空襲を知らない戦後生まれの私には作者がふくらます戦争が唯一の私の戦争代理体験の世界となる。その世界がふくらみはじけんばかりになれば私は満足する。それには防空壕内での闘いが私を激しく動かしてくれる必要があった、しかし笑いと人情しか感じとれなかった、私の満足はそこ

ではじけとばなかった。戦争の現実、不安、悲惨さを通して描きたいものは何なのか、夏の日陽炎はたしかにたっていたが命を懸けて戦場に向かった人達の姿はきっちり見えてこなかった、そこに私は満足しなかったと思う。しかし戦争をテーマにして戦争体験を風化させず積極的に劇化に取り組む麦の会の姿勢には脱帽します、そしてひとつひとつ根っ子へ向かう行動になっていると感じました、うらやましく思っています。

(劇団蒼い群 村田次郎)

## 劇団こゆるぎ座

『平家物語抄  
一高倉上皇一』



10月30日(土)～31日(日)

小田原市民会館ホール

こゆるぎ座の芝居は、能を感じさせるものがあつた。独特なセリフの言い回しは、ゆつくりとした口調の中にも感情が込められ、役者一人一人の技術の高さを表していた。そして、特に衣裳が印象に残つた。とても、艶やかで気品があり、一人一人の衣裳が十分に考えられていた。舞台美術もよく考えられていたが、転換時間があまりにも長すぎた。舞台上創つた雰囲気転換で途切れさせていたのが残念である。

また、序盤のストーリーが長すぎた為中盤から観客の意識が離れてしまったように思える。終盤には観客の意識は戻っていたが、この中だるみ状態はかなり辛いものがあつた。

こゆるぎ座には、現代芝居にない伝統芸能なるものを感じた。これは若い世代へと受け継がせたい大切なものであると思う。しかし、観客にはほとんど若い世代がいなかった。これからも、この伝統を守る為には特別な工夫が必要なのではないだろうか。

(劇団 蒼生樹)

## 京浜協同劇団

『うたよみざる』



11月4日(金)～5日(土)

川崎市幸文化センター

12月7日(火)

県青少年センター

11月6日(土)夜の部を見ました。久しぶりの民話劇でしたが、ほのぼのとした雰囲気にあふれ、最後まで楽しく見ることができました。特に受けのアクションがユーモラスでおもしろく、この動きはまさにお家芸である「権兵衛太鼓」等日頃の活動のたまものであると感じました。

猿村人や長老の台詞の中に無理矢理現代の問題と重ねようとしている感じのもの

のがありましたが、言葉にださなくても本来のストーリーだけで作り手側の表現したいものは充分伝えられたと思います。全体的に語り調のゆったりとしたテンポだったおかげで正面に設置された幕の使い方や装置をかえずに場面転換する工夫、なんともいえない味のある仮面等々細かいところもしっかりと見ることができ、絵本を見るような楽しさを味わうこともできました。

(劇団横浜にゆうくりあ 齊藤れい子)



## 劇団葡萄座

### 『大どろぼう ホッツェンプロッツ』



11月6日(土)～7日(日)  
横浜市教育文化ホール

劇場に入るとまず絵本のような明るい色あいのポスターが目に入った。舞台上には可愛らしい感じのセット。ぬりえなども用意しており、子供を楽しませようという気持ちがよくわかった。今回で7回目だと言う子供劇場。脚本がいいせいもあるが、演出が「ツボを心得ている」と言うか、子供たちを芝居に引き込むのもうまい、子供たちも決して短くはない時間、退屈することなく熱心に見入っていた。

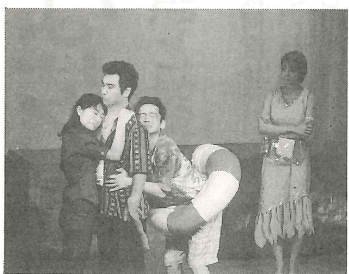
セットは表がおばあちゃんの家で、裏にするとホッツェンプロッツのアジトになるなど、凝っていて面白かった。ただ、あまりにも凝り過ぎたせいか、芝居の最中も裏で転換をしていて、ガタガタとうるさく、集中力を削いでしまったような気がする。

そして一番興奮させたことは、プロンプターの声か客席にまで聞こえてしまったこと。セリフが出てこなくて動揺しているのが客に伝わってしまった。セリフを覚えるのは役者として最低限の義務だと思う。

(劇団 河童座)

## 川崎演劇塾

### 『八月の シャハラザード』



11月12日(金)～14日(日)  
相鉄本多劇場

初めて演劇塾の芝居を見た。我が劇団の宮川氏が客演している事と、作品そのものにとっても興味を持っていた事から、以前から楽しみにさせてもらっていた。大切な人に「さよなら」を言うために必死な主人公と裏切った仲間を殺すために必死なやくざとの間に生まれた心のつながりが見ていて温かかった。一人一人の人間の優しさがとてもよく描かれていたと思う。

始めに書いた通り、私はこの劇団の他の公演は見た事がないので、「今迄と比べて～」などとは言えないが、誰もがすごく素直に芝居をしているのがよく分かった。

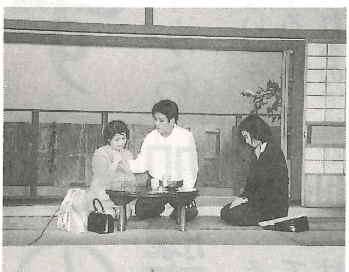
しかし、全体の緊張感のなさはどうしても否定出来なかった。内容の面白さはよく分かったが、役者個人の面白さが引き出されきれていない気がしてもったいなかった。(宮川氏のパンフの言葉はウソだ…)

とにかく見終わって面白かったという感想を持た芝居は好きだ。ぜひ次回も期待したい。

(劇団麦の会 青木理恵)

## 劇団かに座

### 『海と日傘』



11月19日(金)～21日(日)  
相鉄本多劇場

私はかに座の公演を観た事がなく、この戯曲についての知識も全くなかったので、この公演を「観に行かないか」と言われた時正直な所迷ったが、同時に観てみたいという気持ちがわき起こり観に行く事を決めた。

この戯曲は主人公の一角である妻が不治の病である事を除けば全てが日常的であった。その日常性が妻の病の事を浮き上がらせ、哀しさがわき起こる。日常的であるが故に哀しい。特に最後の二場のラ

ストは泣きたくなくなる程哀しく、切ない。日常生活を演じるだけでも難しいのに、この戯曲の根底に流れる哀しさまで演じきった役者の方々の技量に、頭が下がる思いがした。

劇場自体は小劇場で、お客を一生懸命詰め込んでいる状態が最初は気になったが、芝居を見終わる頃にはこの大きさだからこそこの芝居は生きるのだという事に気が付いた。

ただ、難を言えば、台詞が方言のため気を遣っていたのかテンポが微妙におかしかった点と、音楽が不自然なフレーズで唐突にプच्छと音を立てて切れてしまっていた点が少々勿体ないと感じた。

(劇団こゆるぎ座 神田菜穂子)

## 公演スケジュール 3月～5月

京浜協同劇団 『とびだすエンピツ』 3/18(土)～19(日) 川崎幸文化センター

劇団横浜にゆうくりあ 『にゆうくりあ 実験劇場 2000』 3/25(土)26(日) テアトルフォンテ

劇団河童座 『題未定』 4/8(土)～9(日) 相鉄本多劇場 4/22(土)～23(日) 横須賀青少年会館

劇★派 『K県Y市・月の水』 4/29(土)～30(日) ウイングフィールド(大阪)

5/13(土)～14(日) OCT/PASSスタジオ(仙台)





# 西遊記ワークショップ

## どんな芝居にするのか

### 試行錯誤と対立した意見の中から 加藤直さんに聞く

これまでも加藤直さんからは何度かお話を聞く機会がありました。が、今度はいよいよ『西遊記』公演にむけての出発の合図です。そこでもう一度ワークショップの進め方・思いなどみんなでききました。

加藤 今度の合同公演で何をやるのかどうやるのか、この公演が皆さんの欲望を満たすことになるのかが問題だと思います。よく、あるいは演出班の人が芝居を作ってしまうのではなく、みんなですべて試行錯誤の時間を共有することが必要ではないか。いろんな流派の劇団と一緒にやるわけだから。そう簡単には一緒に仕事はできないと思う。だからワークショップは本稽古に入る前のプレ広場的な場所だ。

それから、今の段階では『西遊記』の劇化に興味を持つことではないのか。演出家加藤がみんなやってくれるという幻想を持たないで、協同がなぜ必要かを考えたい。演出班も『西遊記』を考え合う場として考えている。だからテキストを作るのもよく

一人で考えるのはよくない。テキストは、よくと対立したりする演出班との試行錯誤のなかから作られるのではないか。

『西遊記』にどんな意味があるのかといえば、意味なんてないと思ってる。意味はよくらがこれから作っていくこと。だから政治闘争にも、冒険譚にも、道徳物語にも、エロチックなものにもできる。そういう楽しませるやり方はいろいろある。西遊記に何かを求めて読んでもきつと面白くないと思う。だから逆にどうにでもできるのではないか。

テキスト作りは『西遊記』を脚色しようというのではない。芝居を創るとき、やり合って、やり込めた方の論によって創るといのが全て正しいかどうか、やり込められた意見の中に70パーセント開いてくることもある。今日の時代を考えると、情況設定を限界状況に置いてやって見るのも面白いかもしれない。異境から現実(今日)を見直す機会になるかもしれない。今日は、幸せをコンビニで売っている(コンビニで買える)……と思われる。その近代主義を壊さないといけないのではないか。

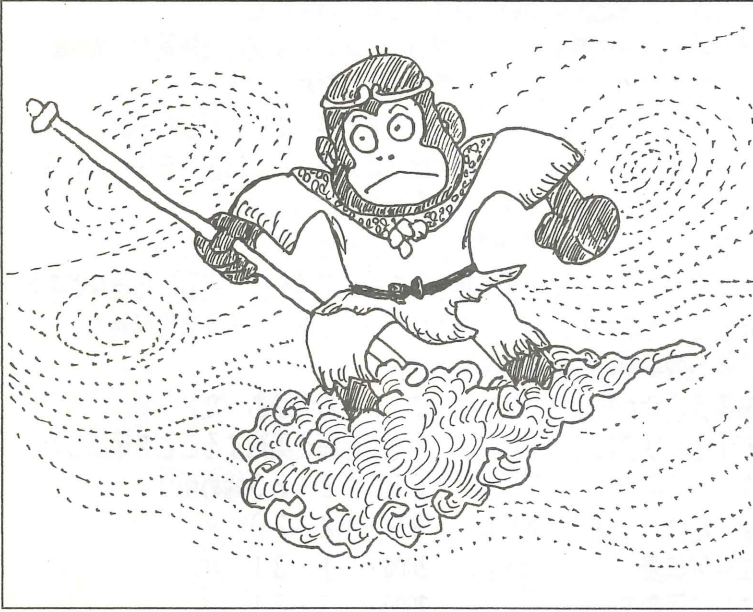
◎具体的なワークショップの進め方についても話し合いました。それについての加藤さんのコメントです。

加藤 ワークショップの中身は何でもありますが、演劇史なども考えてみたい。後半では『西遊記』の映画を3本立てで見合うのもあり。このワークショップを通してテキストを準備する。今回の公演の成果は全国的にみても画期的な仕事になるだろうと思われるので、テキストも再演可能なものとして残せたらと思う。またこの製作過程を記録し、本にするくらいのことを考えたらどうか。そのためにちゃんと記録を取りたい。

いずれにしてもみんなが集まって取り組み、終わったら、打ち上げのお酒がおいしかったというだけでなく、それぞれの集団に持ち帰るものがある。プラスになるものに是非したい。



# 1月24日第1回目開始



## にぎやかにやろうよ

ずっと先のことと置いていた『西遊記』のはじまりです。いよいよ2000年・記念すべき年になりそうです。まずはワークショップから始まります。加藤演出のワークショップは先ず仲間になること、仲良くなること。違う集団の集まりでも気持ちの通う仲間になること。さあ、賑やかに楽しんでみんなで参加しましょう。

## 毎月第2・第4月曜夜7時

### 演劇について語り合うことから始めよう

#### 『西遊記』ワークショップ日程

- 1回目・1月24日(月)
- 2回目・2月14日(月)
- 3回目・2月28日(月)
- 4回目・3月13日(月)
- 5回目・3月27日(月)
- 6回目・4月10日(月)
- 7回目・4月24日(月)
- 8回目・5月8日(月)
- 9回目・5月22日(月)
- 10回目・6月12日(月)
- 11回目・6月26日(月)

開始時間はいずれも午後7時から  
会場はサポーターセンターを予定中

何かワクワクするような気分です。加藤さんも、全国的にも画期的な仕事になるのではと言っていました。きっとそうだと思います。とにかく話していることが楽しいのです。勉強になるし、発見があるし、演劇をするってことは、先ず楽しくなくちゃあ……です。果たしてどんな『西遊記』になるのでしょうか。それはあなたの意外な発想から始まります。乞うご期待。

加藤さんとの話し合いで感じたこと  
♥どんな風に進むのか不安だったが、見えてきた。劇団にかえって誘えるよ。演劇塾・団  
◆これに参加するかどうかは生き方の問題だと思いましたが。吉本・夢樹  
●参加がどうしても限られる。みんな参加すればいいのに。麦の会武井



# 神奈川県演劇連盟 加盟劇団連絡ノート

## 京浜協同劇団

212-川崎市幸区古市場2-109  
0052 TEL 044-511-4951

## 劇団川崎演劇塾

214-川崎市多摩区寺尾台2-8-1-12-504 小川方  
0005 TEL 044-951-9819

## 劇団葡萄座

220-横浜市西区宮ヶ谷2-2メゾン前橋302山本方  
0006 TEL 045-311-8208

## 劇団麦の会

235-横浜市磯子区磯子2-22-13 山元方  
0016 TEL 045-753-4025

## 劇団かに座

220-横浜市西区岡野町1-3-14  
0073 045-311-4616

## 横浜小劇場

231-横浜市中区福富町西通り52  
0042 横浜演劇研究所内  
TEL 045-261-4866

## 劇団蒼生樹

220-横浜市西区西戸部町2-192-14 濱田方  
0046 TEL 045-242-3584

## 劇団横浜にゆうくりあ

220-横浜市西区中央1-30-17 泉谷方  
0051 TEL 045-321-1920

## 劇団G/9 Project

232-横浜南区南太田4-38-27  
0006 喜楽荘106 佐藤典久方  
TEL 045-716-5297

## 劇団河童座

237-横須賀市田浦町4-32 横田方  
0035 TEL 0468-61-2666

## 劇団蒼い群

239-横須賀市グリーンハイツ5-2-107 村田方  
0846 TEL 0468-49-5785

## プロジェクト夢樹

239-横須賀市大津町4-43 吉本方  
0808 TEL 0468-36-7494

## 劇★派

238-横須賀市上町2-1 ネバーランド内  
0017 TEL 0468-27-1631

## 湘南ミュージカルシアター

253-茅ヶ崎市ひばりが丘1-10 前田方  
0027 TEL 0467-85-4313

## 劇団こゆるぎ座

250-小田原市本町2-2-20 梅月食堂内  
0012 TEL 0465-22-2988

# '99年度第4回理事会報告

京浜協同劇団 山本 忠利

第4回理事会は11月29日(月)、神奈川サポートセンターで開かれた。連盟の当面の課題は、合同公演『西遊記』の立ち上がりの準備と、記念誌の編纂についてであり、この二つの課題で討論した。

- 1) 合同公演『西遊記』について制作・山本が報告した。
  - ① 神奈川県に助成を要望しているが厳しい。国の芸術文化振興基金への申請、東洋信託文化財団への申請等行い資金確保に努めている。
  - ② 青少年センターホールの減免についても相談しているがこれも厳しい。
  - ③ 稽古場は、平日のフラスコ・京浜稽古場の他土日の稽古場を探している。なかなか解決しません。皆さんの助言をお願いします。
- 2) 2000年1月からの『西遊記』ワークショップについて  
12月13日(月)に演出家加藤直氏を囲んで進め方、内容、日程などの検討をすることを決めた。(この内容については本誌4~5頁に詳報)
- 3) 記念誌出版事業について  
高津編集責任者から現状の進行状況について報告があった。
  - ① 当初予定より遅れているが、次の日程で原稿を集約することを確認した。
 

イ、グラビア用写真(2葉)	99・12・20締め切り
ロ、劇団紹介と写真(1葉)	99・12・20 //
ハ、エリア年表	2000・1・31 //
ニ、エリア演劇史	2000・3・31 //
ホ、発行予定	2000・6・30 //
  - ② 発行資金について  
発行資金の捻出について討論した。販売目標数が伸びないため部数を減らす意見もあったが、何のために出版するのかの基本論議に戻った。予定の内容を後退させないためには販売数の増、連盟から一部出費、そのために機関紙の手作りを考えることなどが話された。目標通りの発行を探りたい。
- 4) 99年度神奈川県演劇フェスティバル助成金が交付され、参加各劇団に渡された。以上

編集後記

二〇〇〇年。だから何？  
て感じだけど、今年は何？  
公演もあるし、なんとなく  
頑張りなかつたりという  
なつたりなかつたり：  
麦の会 みゆき

二〇〇〇年が始まって、  
ばかり入りますが、  
元々年も三二年もおなじ。  
でもまあせめて気持ちだけ  
でも三レニアムでいます。

演劇塾 五味

Y2Kいかがでした？元旦  
二日と会社で縛られたこと  
になりまして。楽しかったです  
も。ゆつくりのめませんでし  
た。

蒼い群 村田